



平成 26 年 4 月 22 日

各 位

会 社 名 日 立 マ ク セ ル 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 千 歳 喜 弘
(コード番号：6810 東証第一部)
問 合 せ 先 経 営 戦 略 本 部
(TEL. 03-3515-8283)

マイクロ電池の生産能力増強に関するお知らせ

～ 4 年間で約 40 億円の投資で生産能力増強、売上高約 2 倍*へ～

日立マクセル株式会社（取締役社長：千歳 喜弘、以下「マクセル」）は、電池事業をさらに強化すべく、市場拡大が見込まれるマイクロ電池の生産能力増強のため、平成 30 年 3 月期までの 4 年間で約 40 億円を投資し、生産能力を増強する計画です。

マクセルは、約半世紀にわたる独自の「モノづくり力」を基盤として、エネルギー、産業用部材料、電器・コンシューマーの各事業セグメントにおいて、ユニークな製品を展開しています。

なかでもエネルギー事業におけるマイクロ電池は、創業期の製品のひとつである日本初のアルカリ乾電池をその源流とし、電池材料技術や封止技術をはじめとするマクセル独自の材料技術と生産技術によって、耐熱コイン形二酸化マンガンリチウム電池や鉛・水銀ゼロ使用の酸化銀電池といった特徴ある製品を多方面に展開してきました。

近年では、スマート社会の進行に伴い、スマートメーターなどのインフラ用途や、BAN (Body Area Network) の普及に伴う医療用ウェアラブル機器用途など、新たな市場が立ち上がりつつあり、マイクロ電池はこれらの分野において今後大きく成長することが見込まれます。

このような状況の中、マクセルは、マイクロ電池関連の生産・開発の拠点として 20 年以上の歴史がある小野事業所に、今後 4 年間で約 40 億円を投資することにより、多彩な独自技術をベースに日本品質にこだわってきたマクセルのマイクロ電池事業をさらに強化していきます。年内には新棟を竣工し、市場の拡大に合わせて順次生産設備増強を進めていく計画です。これにより、平成 30 年 3 月期を目途にマイクロ電池関連の売上高約 2 倍*をめざします。

マクセルは、マイクロ電池を新しいスマート社会を実現する機器のコアデバイスとして提供し、さまざまな場面でスマート社会の発展に貢献していきます。

* 平成 26 年 3 月期における当社のマイクロ電池の売上高に対して

以 上